

## 植物多様性センターの「モクレイシ4.5」

学習園にモクレイシの花が咲きはじめています。モクレイシはニシキギ科の雌雄異株の常緑樹で、主に日本の暖地に自生する植物です。東京都では伊豆諸島に自生が多く、本土部では南多摩に稀に見られます。ニシキギ科の花の構造には4数性と5数性のものが知られますが、モクレイシは4または5数性とされています。センターのモクレイシは雄株で、花弁5枚と4枚が入りまじっています。ちょうど中間の4.5数性といったところでしょうか。



モクレイシ雄株、雄花：開花状況、  
緑色の小さな花は香りも良い



モクレイシ雄花拡大：花弁5枚、  
おしべ4本 花弁4枚(円内)



マユミ：4数性、4枚の花弁、4本  
のおしべ 果実は4裂



ツリバナ：5数性、5枚の花弁、5  
本のおしべ 果実は5裂